

2024 年度（第 46 期）

事業報告

自：2024 年（令和 6 年）4 月 1 日
至：2025 年（令和 7 年）3 月 31 日



〒621-0027

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法

公益財団法人 関西盲導犬協会 2024年度事業報告書
(2024年4月1日-2025年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

①貸与頭数

2024年度の盲導犬の貸与頭数・貸与者は以下のとおり。

	番号	代替 新規	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	助成金
1	7460	代替	女 (50代)	滋賀県	げ	LR	♂	5月15日	滋賀県
2	7461	代替	女 (60代)	広島県	フィナ	LR	♂	5月18日	広島ハーネスの会
3	7462	新規	女 (50代)	静岡県	アネ	LR	♂	7月3日	静岡県
4	7463	新規	女 (40代)	京都府	エリク	LR	♂	7月3日	京都府
5	7464	代替	男 (50代)	滋賀県	グォイス	LR	♂	10月18日	滋賀県
6	7465	代替	男 (60代)	兵庫県	レジット	LR	♂	11月17日	小山基金・施設連合会
7	7466	新規	女 (50代)	京都府	カシ	LR	♂	12月14日	京都府
8	7467	新規	女 (60代)	高知県	コト	LR	♂	12月14日	高知県身障者連合会
9	7468	新規	女 (20代)	高知県	ディナ	LR	♂	3月12日	高知県身障者連合会
10	7469	新規	女 (60代)	岡山県	グリー	LR	♂	3月13日	全国盲導犬施設連合会

(犬種：LR：ラブラドル、GR：ゴールデン、F1：ラブ×ゴールデン)

②盲導犬実働数・ユーザー人数

2024年度末の盲導犬実働数・ユーザー数は以下のとおり。

夫婦で1頭の盲導犬を使用する「タンデム」ユニットが現在2組。

	盲導犬実働数(頭)	盲導犬ユーザー数(人)
2024年度	62 (+3)	64 (+3)

③新規盲導犬ユーザー獲得の取り組み (新規希望者への働きかけ)

体験歩行会等の「イベント」を通しての新規希望者の開拓を行うとともに、個別の問い合わせ者には積極的に体験歩行を実施した。その結果、面接などその後の手続きを経て2名の新規希望者を獲得できた。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア (フォローアップ)

①フォローアップの実施

フォローアップ体制の再編作業を継続しつつ、盲導犬ユーザーへの下記フォローアップを実施した。訪問によるフォローアップと電話・メールによる状況確認および相談フォローアップは以下のとおり。

1. 訪問フォローアップ		151件 (前年度107件)
内訳	定期	67件
	共同訓練直後	13件
	ファミリーリゼーション	11件
	犬の健康管理 (高齢犬の健康診断を含む)	19件
	犬の問題行動	10件
	その他	31件
2. 電話 (メール) フォローアップ		129件

②盲導犬医療費の助成

盲導犬ユーザーに対して、盲導犬飼養に係る予防的医療費（狂犬病および混合ワクチン）およびフィラリア予防薬の購入費助成を継続した。

③高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた9歳齢ならびに10歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施し、健康状態を把握した。

(3) 犬の育成・ケア

①繁殖・パピー・訓練犬の状況

- ・ 出産頭数：33頭
- ・ 繁殖犬数：23頭（2025年3月末現在。オス10頭／メス13頭）
- ・ パピーウォーキング（巡回指導193回・パピースクール35回）
- ・ 訓練犬：のべ58頭（前年度からの在籍犬18頭、2024年度の新入犬40頭）

②国内外の協力先との連携

- ・ AGBN (Asian Guide Dogs Breeding Network) の総会ならびに実務者会議に出席した。（2024年5月・11月）
- ・ 国際盲導犬連盟 (IGDF) の査察に合格し、正会員資格を維持した。（2024年10月）

③凍結精子の利用

今年度は凍結精子による人工授精は行わず、その作成のみ実施した。

④リタイア犬への医療費補助

予防的医療費、療法食、葬儀費への助成を行うとともに、高額医療費補助金の上限を30万円とした。

⑤獣医師会との連携

公益社団法人京都市獣医師会による協会所有犬に対する定期健診・検査を継続した（年12回）。

(4) 職員の採用その他

訓練士候補として正規職員1名を採用した。

(5) 訓練部職員のスキルアップ

①認定NPO法人全国盲導犬施設連合会主催の研修会

同連合会が主催する以下のセミナーに、各テーマに関わる職員が参加した。

- ・ 相互研修事業「動物福祉」（2024年4月・オンライン開催）
- ・ 相互研修事業「人材育成マネジメント」（2024年7月・オンライン開催）
- ・ 相互研修事業「パピープログラム」（2024年7月・於北海道盲導犬協会）
- ・ 相互研修事業「共同訓練」（2024年12月・於東日本盲導犬協会）
- ・ 相互研修事業「ユーザー・盲導犬の防災対策」（2024年12月・オンライン開催）

②訓練担当者の資格取得プログラム

盲導犬訓練士1名が、全国盲導犬施設連合会による盲導犬歩行指導員視覚認定審査を受け、合格した（2025年4月1日発効）。

③国内外育成施設への職員派遣

- ・ 訓練担当者1名に社会福祉法人日本ライトハウス養成部が主催する「視覚障害リハビリテーション基礎講習」を受講させた。（8月）
- ・ 盲導犬訓練の見学・意見交換を目的に、訓練担当および啓発担当職員を社会福祉法人兵庫盲導犬協会に派遣した。（12月）

④社会福祉法人兵庫盲導犬協会より訓練研修生1名を受け入れた。

(6) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」の開催を継続した。（中止とした3回を除く毎月1回、計9回開催）

(7) フレンドドッグ事業

- ・フレンドドッグ活動に協力して下さるボランティアを募集し、「グッドシチズンテスト」（内容はフレンドドッグ活動に合わせて一部変更）を実施した。その結果、18ユニットがフレンドドッグ活動ボランティアとして登録している。
- ・コロナ禍前に実施していた高齢者施設1施設に対してフレンドドッグ活動を再開し、2回のべ7ユニットが参加した。
- ・「園児と盲導犬のふれあい事業」として、亀岡市の委託により、亀岡市立保育所・幼稚園・こども園9施設に対し、各1回ずつ、フレンドドッグ活動を行った。

(8) 調査研究

- ・京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続した。

1-2. 相談事業

(1) 苦情ならびに相談に関する対応

2024年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数24件であった。

①入店ならびに利用拒否、合理的配慮の不備についての相談：13件

- ・飲食店：4件（解決済）
- ・観光施設：4件（2件解決済、1件は盲導犬同伴できず、1件は利用についてユーザーにアドバイス）
- ・医療機関：3件（解決済）
- ・集合住宅：1件（解決できず転居）
- ・交通機関：1件（解決済）

②事業者からの相談：2件

- ・ホテル：1件（受け入れについて情報提供）
- ・薬局：1件（必要な設備について情報提供）

③ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談：7件

- ・酷暑の中での歩行：6件（内2件は状況を確認し盲導犬に対するケアについて説明し理解が得られた。4件は他協会ユーザーおよび該当者が判明できなかった）
- ・盲導犬および周囲への不適切な言動：1件（他協会ユーザー）

④当協会出身の犬の飼育等について：2件

- ・パピーウォーカー：1件
- ・キャリアチェンジ犬オーナー：1件

(2) 他機関との連携

盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について、全国盲導犬施設連合会と連携し対応した。

1-3. 啓発普及活動

(1) 啓発普及活動

①視覚障がい者を対象とした啓発活動

以下の団体からの依頼を受けて、体験歩行会を実施した他、個人からの依頼には即時対応した。

- ・大津赤十字病院「第7回中間型アウトリーチ支援 盲導犬体験会」（2024年10月4日）
- ・京都ライトハウス「京都ライトハウスまつり2024」（2024年10月27日）
- ・奈良県視覚障害者福祉協会「福祉機器展」（2024年11月17日）
- ・兵庫県視覚障害者福祉協会「兵庫県視覚障害者福祉まつり」（2024年12月6日）
- ・京都府視覚障害者協会「あい ふれいる」（2024年12月15日）

②定例見学会の実施ならびに団体等の見学受入れ

- ・当協会での見学会：11回（参加者346名）
- ・団体見学の受入れ：30件605名

③ユーザー主体の啓発普及活動の実施

学校・企業・行政等からの講演依頼に対しては、積極的に講師としてユーザーに依頼した。詳細は以下

のとおり。※ [] 内は、ユーザーの講演件数

・学校での講演活動：38[30]件

・イベントならびに社会奉仕団体等の例会での講演、企業・医療機関等の研修会への講師派遣：29[9]件

④機関紙「ハーネス通信」の発行

例年通り、4・7・10・1月の計4回、それぞれ墨字版・点字版・CD版を発行した。

⑤ホームページや各種ソーシャルネットワーク（SNS）を活用した情報発信

ホームページならびに各種SNSを活用し、情報発信を頻繁に行なった。

⑥行政ならびに他機関との連携

・視覚相談会：6回（京都府家庭支援総合センター主催／福知山市・亀岡市・宇治市・長岡京市・京田辺市・与謝野町）

(2) 協会主催・共催イベント

①協会主催イベント

・「盲導犬の日」にちなみYouTubeを配信した。（2024年4月29日）

・「盲導犬Love's フェスタ2024」をサンガスタジアム byKYOCERAで開催した。（2024年5月26日）

・「ボランティアズデー」を亀岡運動公園で開催した。（2024年11月4日）

②京都府の視覚障害者団体との共催イベント

「あい・らぶ・ふえあ（2025年1月25、26日イオンモール京都）」、「白杖安全デー（2025年3月16日京都ライトハウス）」の共催イベントに職員を派遣した。

2. 管理部門

(1) 収入と支出に関する取り組み

①各種SNS・街頭募金活動等を通し、広く支援・寄付を呼びかけたほか、今年度もオリジナルカレンダー、小冊子を作成・配布するなど、支援者への働きかけを継続した。

②過去の実績に基づいた街頭募金活動を計画・実施し、募金収入の増加を図った。

③協会所有犬への医療費支援を目的としたクラウドファンディングを実施した。

（支援金計12,991,000円）

④亀岡市と協同し、本年度も「ふるさと納税」を活用した支援を募った。

⑤現状報告（2024年3月末現在）。

a. 賛助会員

総賛助会員数 1,444件（前年度1,374件）

正会員 1,137件（前年度1,096件）

後援会員 36件（前年度36件）

法人会員 39件（前年度34件）

マンスリー会員 228件（前年度205件）

青少年会員 4件（前年度3件）

b. 募金箱

・設置件数：1,649件（前年度1,644件）

・回収金額：9,623,075円（前年度実績10,334,528円）

c. 街頭募金

・実施回数：86回（前年度実績106回）

・募金金額合計：8,497,376円（前年度実績11,347,966円）

d. 募金型自動販売機

・設置台数：91台（前年度89台）

(2) 事務職員の採用

正規職員を募集し、1名を採用した。(2025年4月1日入職)

(3) 収益事業の検討

本年度は引き続き街頭募金活動に注力し、その検討は進めていない。

3. 施設整備ならびに備品購入等

- ・本館2階宿直室のリフォーム工事を実施した。
- ・繁殖業務用ホルモン測定器を購入した。